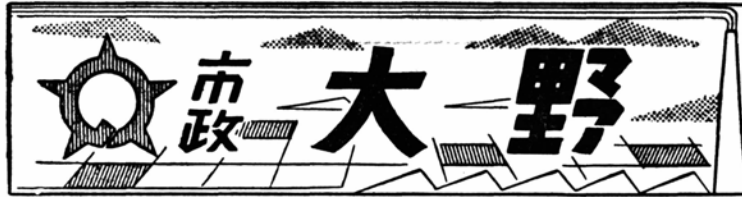


発 行
福井県大野市役所
(総務課広報係)
電話(代)6-3600
夜 間 6-3601
印刷 松浦印刷所



3月の人口の動き

出生	男 95	女 25	計 60
死亡	男 22	女 15	計 37
転入	男 104	女 92	計 196
転出	男 117	女 122	計 239
世帯数	9,594		
人 口	44,993		
男	21,500	女	23,493

7重点施策

森広市長の方針

昭和40年度市政の大綱を決める3月定例市議会で、森広市長はことしの重点施策として、つぎの7点をあげ、強力に実施していく方針を明らかにしました。

経費の抑制と行政機構の整備

ことしは人権費、諸物価の高騰による諸経費などの増加によって、投資的経費が圧迫されるので、可能な限り消費的経費の節減と市の機構、事務の簡素化を図り、職員の適正な配置によって、職員の不補充など健全財政の助長に努める。

市民会館の建設

当市にふさわしい理想的な市民会館を建設し、市内唯一の文化的社会的施設として、また娯楽、いこいの場として広く市民に利用願うよう十分な配慮と早期完

成に努める。

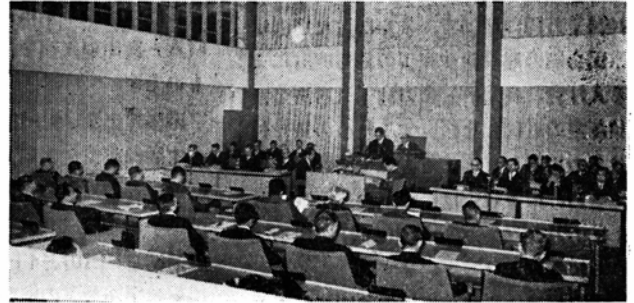
地域開発の促進

奥越電源開発事業の円滑な推進とこれに平行して国道の改良、越美北線の延長および全線貫通、観光開発などを促進し、中京経済圏との積極的な交流など、産業経済基盤の確立に万全を期したい。

教育の振興と国体準備

学校施設の充実は、過去数年積極的に推進したので、教育上不可欠の施設のみを実施し、4年後の国体準備は逐次諸施設の新設改良を図るとともに、準備期間を通じて、明るい町づくり運動と市民体育の振興、青少年教育を強力に推進したい。

農業、中小企業対策



(議場風景)

他産業と農業の所得格差を是正するため、土地基盤の整備、経営規模の拡大、自立経営農家の育成と畜産、そ菜などの振興を積極的に推進するための金融措置を講じ、農業所得の増大と生活の安定向上を期したい。中小企業者に対する貸し付け金の増額と事業の共同化、経営の合理化による中小企業の振興に努めたい。

社会福祉の増進

勤労者の労働力確保の見地から保育所を新設したい。

市民会館着工

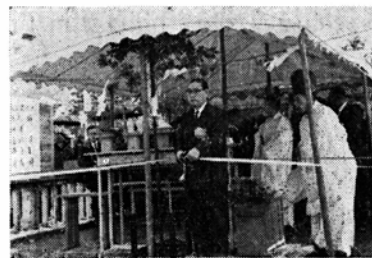
完成は明年5月

かねて計画を進めていた市民会館の建設は、総工費約1億6千万円で41年5月末までに完成することになり、起工式は3月30日におこなわれました。

市民会館建設事業費の年度別支出額は39年度で1千477万円、40年度で7千218万円、41年度で8千220万円となっており、これら継続費については3月1日の臨時市議会で議決されました。

なお主体工事は1億2千800万円で熊谷組が請け負うことになりました。

市民会館の規模、施設内容については市報第126号(昨年12月号)をご覧ください。



(渡りぞめのテープを切る北知事)

佐開橋の開通式

県道五条方・西屋勝山線の真名川にかかる佐開橋の開通式(渡り初め)が3月13日、北知事をはじめ関係者約100名が出席して行なわれました。

同橋は38年の大雪でつり橋のワイヤが切れ通行が危険になったので、県が災害復旧と橋の改良工事と関連して、約4千900万円で延長106m、幅5.5mのピーエスコンクリート橋に掛け替えたものです

預金口座へ振り込み

市からの支払い

4月から市役所が品物を購入した代金の支払い方法を、直接現金で支払わずに債権者の金融機関の預金口座へ振り込む方法(債権者には明細を通知する)で支払うことになりましたから、まだ手続きのされていない方は収入役室の窓口へ至急申し出てください。

受診証の請求は市民課へ

住所の居転などでまだ、新しい国民健康保険の受診証がとどいていない人は至急市役所の市民課へご連絡してください。

総額7億6千810万円

40年度の一般会計当初予算

昭和40年度の一般会計当初予算額は、7億6千810万円で市発足以来の超大型予算となりました。これは前年に比べて約1億4千万円の増加で、多くなった原因は市民会館の建設費や昨年との給与改訂による人件費、長期借入金の利子や返済金、諸産業の近代化を促進するための貸し付け金の増額などによるものです。

一方、市税収入は、税率の改正で約1千600万円少なくなり、市の財政事情はさらに深刻となっています。

予算編成に当たっては消費的経費の節減に努め、事業の選択的実施によって収支の均衡を図っています。

おもな予算内容はつぎのとおりです。

歳 入

自主財源 3億6千399万9千円

▼市税 2億6千198万8千円

市民税は7千759万8千円で昨年より約3千万円少なくなっています。固定資産税は1億2千721万円、軽自動車税は592万3千円、たばこ消費税は2千590万2千円、電気ガス税は2千104万3千円、その他430万3千円です。

▼分担金および負担金 443万8千円

農道や農業用施設の新設改良、林道の補修、道路舗装を行なう場合の利益者(地元)分担金490万円と、学校安全協会の父兄負担金13万8千円です。

▼使用料および手数料 1千389万3千円

市営住宅、保育所、幼稚園、火葬場などの使用料766万2千円と戸籍の謄抄本諸証明、予防接種、し尿処理などの手数料623万1千円です。

▼財産収入 409万2千円

市有地の貸し付け収入13万3千円と、市有財産や農場生産物の売り払い代金395万9千円です。

▼繰越金 1万円

▼諸収入 7千957万8千円

これまで市が貸し付けていた産業近代化資金の戻し入れ7千801万4千円と、国民年金印紙売りさばき手数料や市税の延滞金、預金利子など156万4千円です。

依存財源 4億410万1千円

▼地方交付税 1億4千5百万円

これは国の基準によって算出した市の収入と支出の差額を、国から交付されるものです。

▼国庫支出金 6千107万8千円

生活保護費や失業対策事業費、災害復旧費などの負担金4千732万8千円、保育所、学校施設、レントゲン車購入費などの補助金1千101万4千円と、公明選挙、国民年金事務などの委託金279万6千円です

▼県支出金 2千978万6千円

災害復旧費や地籍調査などの負担金1千114万5千円、農業構造改善事業をはじめ、各種事業の補助金1千598万円と、県税の徴収や統計調査などの委託金266万1千円です。

▼寄付金 1千733万7千円

道路、橋の改良に対する寄付685万円と空中防除事業の寄付941万7千円などです

▼市債 1億5千90万円

市民会館建設債7千200万円をはじめ土木債1千200万円、その他学校、保育所などの建設債です。

歳 出

消費的経費 3億2千853万5千円

▼人件費 2億2千611万6千円

市会議員、市長はじめ市職員の給与や諸手当、各種委員の報酬と共済組合の負担および恩給などです。

▼物件費 6千667万3千円

市が仕事をするのに必要な経費で、たとえば消耗品、燃料、旅費、備品購入、公共建物の火災保険料などです。

▼維持修繕費 1千579万円

各学校はじめ公共施設の修繕費です。

▼補助費 1千995万6千円

各種団体の補助金1千29万4千円と国、県など上部団体の負担金です。

扶助費 4千154万2千円

生活保護家庭の扶助費2千650万2千円をはじめ老人福祉費750万円、準保護家庭の児童生徒に対する給食費や学用品代

412万7千円などです。

投資的経費 2億1千251万1千円

▼福祉関係費 8千412万円

市民会館の建設費7千218万円、保育所の建設費594万円、レントゲン車の購入費600万円です。

▼農林業費 4千327万3千円

農道、用排水路の改良と積寒事業の補助454万8千円、富田地区の地籍調査費(500ha分)944万3千円、空中防除費1千23万1千円、農業近代化資金の利子補給や共同飼育場(阪谷)の補助468万8千円、下庄地区構造改善事業補助1千310万1千円乳牛の基礎牛導入補助24万円、笹又林道の調査設計費50万円、市有林造成費554万2千円、造林補助90万円です。

▼商工費 419万円

産業近代化資金の利子補給364万円と勝原駅の便所新設や観光施設の補助55万円です。

▼土木費 4千619万円

道路の改良費1千590万円、下若生子、黒谷、吉村橋の改良費1千万円、河川改良費350万円、都市計画向島線の建設費427万円、工業高校の敷地造成費770万円、県の負担金427万円です。

▼災害復旧費 1千845万5千円

農務課関係が211万円、土木関係が858万1千円、林道関係が776万4千円です。

▼失業対策費 392万6千円

▼消防費 92万円

消火栓4カ所と小型動力ポンプの購入費です。

▼教育費 981万3千円

下庄中の工作室、阪谷小、有終中の給食室の新築費と公民館建設設計委託費です。

▼国体準備費 162万4千円

全国ソフトボール大会のグラウンド整備と有終中に国旗掲揚塔を作る費用です。

公債費 1億871万3千円

公共施設の建設費として市が借りた金の返済金6千204万と、借金の利子4千667万3千円などです。

その他 7千679万9千円

産業近代化資金4千250万円、農業近代化資金9千万円など貸し付け金7千300万円と、簡易水道、駅東区画整理など特別会計への繰り出し金268万9千円、予備費100万円です。

おとなへの第一歩 498名晴れの成人式

ことし成人になる若人496名(男228、女270)を祝福する市の成人式は2か月余りおくりかえし春分の日3月21日有終中学校講堂で行なわれました。

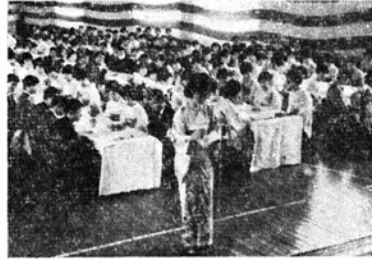
これは、当市では冬期間に出かせざる人が多く、また雪のために交通の利便が悪いため例年3月に行なっているものです。

式典は9時30分から行なわれ、守野教育委員長の激励のことば、来賓祝辞のあと森広市長から成人者代表に記念品としてシャープペンシルが贈呈されました。

このあと成人感想文、新有権者感想文

入選者を代表して多田登紀子さん(松丸)が「これまでに育て上げてくださった社会のみなさんに深く感謝しますとともにこれからはあらゆる努力をて、社会人としての責任と自覚をもってベストを尽くします」と誓いの言葉を述べました。

ついで同志社女子大助教授：深田氏の



(誓いのことばをのべる多田さん)

「現代青年に望む」と題する記念講演を聞き、昼は市婦人会、青年団から贈られた心尽くしの弁当に舌つづみを打ちながらアトラクションを楽しみ、記念撮影ののち、なごやかなふんいきの中に散会しました。

なお感想文入選者は次のとおりです。

◆成人感想文(市教委募集)

入選1位 橋本絹枝(平沢) 2位 石塚多鶴子(萩ヶ野) 3位 吉田明夫(富田開拓)

佳作1位 伏木正進(下唯野) 2位 笹川靖子(松丸) 3位 島田幸造(日の出下)

◆新有権者感想文(公明選挙推進協議会)

1位 該当なし 2位 山崎孝光(春日) 3位 多田登紀子(松丸) *大垣光雄(西勝原) *石塚多鶴子(萩ヶ野)

市民税の所得割りを軽減 (定 例) 市 議 会

3月定例市議会は11日から14日間開かれ、40年度の予算関係や市税の賦課徴収条例の改正案など40議案について審議され、いずれも原案どおり議決されました。おもな議案はつぎのとおりです。

○印鑑条例の全部改正

印鑑証明による事故を未然に防ぐために、印鑑登録や証明請求の代理人や証明拒否など、これまでの不備な点を改正明確化したものです。

○市税の賦課徴収条例の一部改正

市民税の所得割りの軽減と市町村間の不均衡を是正するため、障害者、高齢、か届、勤労学生に税額控除400円を1千円に、税率を

所得額15万円以下	のときは	100分の2.8%
15万円を超え	るときは	100分の4.2%
40万円	”	” 5.6%
70万円	”	” 7%
100万円	”	” 8.4%
150万円	”	” 9.8%
250万円	”	” 11.2%

に改められました。

○国民健康保険条例の一部改正

市民税の賦課徴収条例の一部改正にともなって、保険税、所得割の課税基準が一部改正されました。

○手数料徴収条例の一部改正

百日せき、ジフテリア混合ワクチンの

単価が値上りしたので、この予防接種手数料をこれまでの初回150円を240円に、追加50円を80円に引き上げられました。

○幼稚園の設置条例と入園料保育料徴収条例の一部改正

4月1日から小山市幼稚園を開設することになったのと、園児の必要経費が高騰したので入園料を300円から500円に、保育料を400円から600円に引き上げられました。

○市道路線の認定と路線区域の変更

駅東区画整理が完了したので、区画街路が市道に編入され、都市計画や土地改良事業などによって、市道の一部が延長または位置が一部変わったので、その市道の区域が変更されました。

○市消防団設置条例の一部改正

国の消防団員の階級準則に基づいて、新たに副分団長の階級制度をつくり、団員の定数をこれまでの439名を387名に改められました。

○消防団員等公務災害補償条例の全部改正

消防団員等の損害補償の範囲や基準金額を、国の基準に従って整備されました。

○市監査委員条例の一部改正

監査機能の充実強化を図るために、監査委員の事務局を設置することになりました。

○市農場の設置条例と衛生処理場条例の一部改正

4月から農場は農務課の所管、衛生処理場は保険衛生課の所管として運営することになりました。

○旧出張所所在地の住民に対する行政事務の取り扱いに関する条例の一部改正

これまで上庄と富田両公民館で取り扱っていた印鑑登録と証明事務が、市民課の窓口へ移されることになりました。

○食肉処理場条例の一部改正

食肉処理場の開設にともない、使用者から牛馬は1頭について1千円、子牛、豚は500円、めん羊、山羊は100円の手数料を徴収することになりました。

○市民会館建築工事の請負契約について

市民会館の建築工事は1億2千800万円

○用品基金の設置および管理に関する条例の制定

市役所用品の集中購入事務の円滑な運営を図るため、用品調達基金30万円を積み立て計画的に購入することになりました。

緑の羽根募金に
ご協力ください

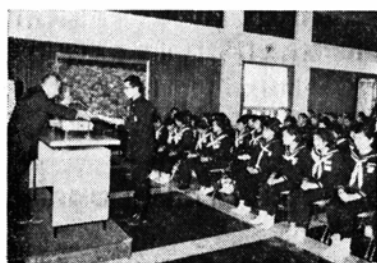
3月20日 — 4月30日

国体協力緑化運動

母子家庭の中学 卒生を励ます会

ことし中学校を卒業する母子家庭の生徒を励ます会が、3月4日市役所で開かれました。

母子家庭の中学卒業生は市内で150名。この日県知事、県木亡人会から記念のアルバムが贈られ、これから社会に巣立つ人、また進学される人たちを激励しました。



見守って欲しい 「鍵っ子」の日常

39年中に市内で非行少年として警察の調べを受けた者は71人ありました。この少年達の80%は共稼ぎ家庭の少年でした。愛護センターでは本年の重点目標として、鍵っ子から非行少年を出さない努力をすることになり、とくに共かせぎ家庭の皆さんに、つぎのことを守つていただくよう願っています。

- ◎留守にする時間だけ子供を預けるか近くの民生委員と相談して善処する。
- ◎夕飯だけは親子そろってとり、その日の出来ごとをかくさずに話し合う。
- ◎疲れていても、できるだけ勉強をみて

やり、鍵っ子に起こり勝ちな学力低下を防ぐ。

- ◎留守の家には友達が集まりがちだから隣り近所の父兄と連絡をとりあって、非行の温床にならぬよう見守ってもらう。
 - ◎子供の持ち物に注意し、変った物が見つかったら、納得のいくまで聞き直す
 - ◎ひとりで留守番ができるようになる小学3年生ごろから、悪いくせがつきやすく、親もうちかりできない。こづかい銭の与え方が悪いと、むだ使いや、家のもの持ち出しを始めるのも、この年代からです。
- みんなで暖かい心をもって育ててくださるようお願いいたします。

毎月20日に児童相談

県中央児童相談所では、毎月20日に専門の職員が、お子さんの非行や身体障害その他のことでお困りのご家庭へ直接訪問してご両親とよく話しあい、問題の指導に努めています。

ご相談は一切無料で、秘密は絶対に守られ他にもれることはありませんから、お子さんについて問題をお持ちの方は、安心して下記へご連絡またはご相談におかけください。

- 市役所内福祉事務所 ⑥3600
- 県中央児童相談所 ②2687

交通安全スローガン

- みんなの注意で安全通学
- 学校で、家庭で、こどもの安全教育
- こどもを見たら、まず徐行
- 幼児をひとり歩きさせない
- 歩道と車道の区別のない道では幼児を

沖縄の慰霊塔建設にご協力を

近く沖縄摩文仁(マブニ)に福井県出身(102名)戦没者慰霊塔を建てることになりました。慰霊塔の建設費は約600万円で、明年1月に完成する予定です。いま知事が中心になって建設費の募金をはじめていますので皆さんのご協力をお願いします。

第1期腸パラチフス 定期予防接種

▽対象者 昭和36年1月1日～同年12月31日までの出生者

△接種手数料 1回10円

会場	1回目	2回目	3回目
下庄公民館	4月6日	4月13日	4月20日
乾側	〃	〃	〃
富田	〃 7	〃 14	〃 21
阪谷	〃	〃	〃
大野	〃 8	〃 15	〃 22
小山	〃	〃	〃
大野	〃 9	〃 16	〃 23
上庄	〃	〃	〃
五箇	〃 12	〃 19	〃 26

※ 時間はいずれも午後1時～2時



- 右側にして左の手をとって歩く。
- こどもの遊びは、公園や広場を利用し道路で遊ばせない。
- こどもと外出したとき、道路の右側通行、安全な横断のしかたを教え、身につけさせる。

かすめた。ああ。

▼「自慢のスピード」一家の悲劇「や」飛び出す車のあとにまた車」などの標語を思い浮かべていたら、窓外では幼な子たちの「春ガキタ春ガキタドコニ来た」とかわいいうが流れてきた。一瞬、悲惨な事故現場が脳裏をかすめた。ああ。

井県内の幼児児童等の交通事故は死者一五名、傷者五〇七名も出ている。一昨年度と比べると死者は一名の減だが、傷者は一八五名もの増となっている。▼自分を守る能力にとほしく、社会生活になれていないために起こるこどもの交通事故ほど哀れで悲しいものはないそれがおとなの無暴運転の犠牲とあってはなおさらのことだ。そこがわれわれの責任があり、社会共同体の責務も強く望まれるゆえである。▼こうした義務感とも言うべきこの月間であるが、従来往々にして〇〇月間とか××週間、旬間と銘うつと、その期間内だけのことかと錯覚を起しがちである。この期間を通じて、あらゆる方面からあらゆる方法を考え講じて実行して得た尊い努力の結果を、さらに継続発展させてこそその精神は生きるものである。▼交通事故の重大原因となっている飲酒運転の絶滅、安全速度の厳守、踏切一時停止、飛び出しと路上遊ぎの防止等もはや常識である。市町村、各種団体機関等市民総ぐるみになってこの運動を推進してほしい。▼しかしこれらの母胎は何といつても各家庭である。「火の用心」のように家の柱にはり紙して朝晩注意し合ったりするほどの習慣が茶の間の日常になったらどうだろうか。



四月一日から四月三〇日までの一か月間「こどもを交通事故から守る運動」が実施されることになった昨年の福